

SDGS教育で連携

ホンダカーズ東海 大垣市と協定

大垣市とホンダカーズ東海(名古屋市)は3日、包括連携協定を結んだ。防災

や持続可能な開発目標(SDGs)教育など5項目に取り組む。

同社は市内に5店舗を構え、市内の小中学校での出前講座や災害時の電気自動車(EV)の提供など地域貢献活動を積極的に行っている。自治体と同様の協定を結ぶのは初めて。

市役所で開かれた締結式では石田仁市長が中嶋勉取締役副社長と協定書を取り

交わし「市の安心・安全と子どもの健全育成のため今後も力をお借りしたい」と述べた。今川喜章相談役は「よりレベルアップした取り組みで地域の役に立てたら」と話した。(西垣剛大)



令和8年3月3日(火)
協定書を手にする中嶋勉取締役副社長(左)と石田仁市長(大垣市役所)